

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS)  
若手研究者によるサステナビリティ科学技術開発工房 学内公募要綱

2009年6月18日

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構

機構長 馬場章夫

企画推進室長 山中伸介

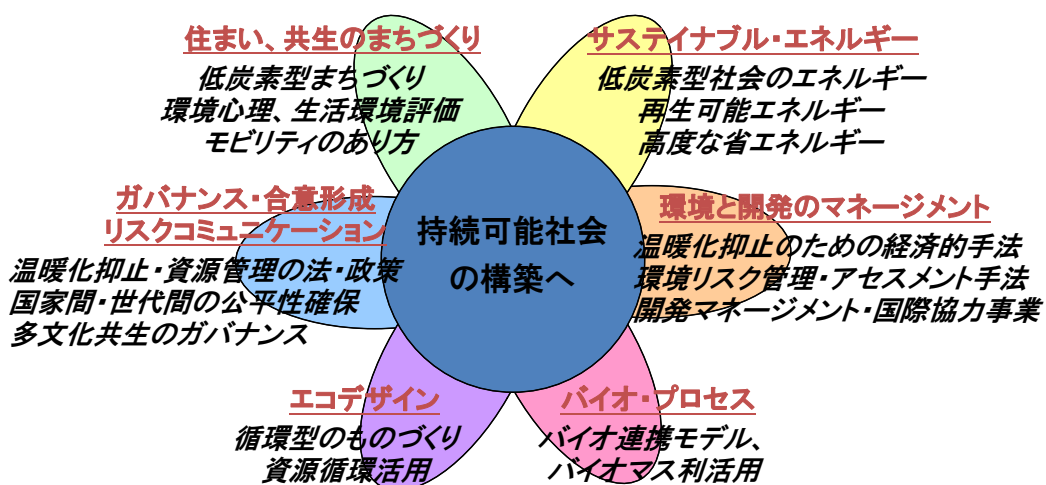
1. 大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構(RISS)と研究推進体制

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構(RISS)は、文部科学省科学技術振興調整費、戦略的研究拠点育成プログラムの助成を受け、東京大学をはじめとする5大学が参加する「サステナビリティ学連携研究機構」(<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>)の一員として、平成18年4月に設立されました。RISSは「エコ産業技術による循環型社会のデザイン」をスローガンとし、全学的な研究教育活動を推進してきました。具体的には、産業技術の技術開発と社会システムデザインを特徴として以下の課題に取り組んできました：

- A. 資源循環により環境負荷を極小化する社会の像とそこへ到達する道筋のデザイン
- B. エコ技術と産業エコロジーと共鳴する都市地域システムのデザイン
- C. 低負荷・超高効率のものづくり技術のデザイン
- D. 技術を誘導し、持続可能な社会をつくるために、環境社会構築の制度デザイン
- E. 環境技術開発を促進する制度のデザイン
- F. サステナビリティ・コミュニケーションのデザイン

これらの研究課題を推進するため、研究ワーキンググループを組織し、定期的にワークショップを実施すると共に、学内公募によるサステナビリティ科学技術開発工房（以下、工房とする）を設置し研究を行ってきました。今後は更にこれらの具体化として、下図のテーマに注力していきたいと考えています。

平成 21年度テーマ



さらに、これらの中で優先したい枠組みとして

## ●優先したい枠組み

- 1)平成 22 年度以降の継承が図られるもの
- 2)学内の広い層や分野との協力が得られる可能性を秘めたもの。

を考えています。

## 2. サステナビリティ科学技術開発工房の学内公募

RISS では上記平成 21年度のテーマ研究の推進に資する研究グループ(または個人)を、特に准教授、講師、助教など若手研究者を対象に大阪大学内より公募する。RISS は、公募の結果として採択された研究グループをサステナビリティ科学技術開発工房として位置づけ、下記の通り研究支援を行う。

- (1) 支援期間 採択決定後から 2010 年 2 月末まで
- (2) 予算規模 応募申請に応じて予算額を決定する。基本的には 50 万円/件×10 件、500 万円を充当する。  
ただし、各工房での研究活動は独立採算を基本とし、工房は独自で外部資金獲得を目指す。RISS は研究の本格的展開のためのスタートアップを支援する。  
(工房活動に必要な書籍等の消耗品費、旅費等を支援する。ただし、予算の執行は文部科学省科学技術振興調整費の規定に従う。)
- (3) 条件 対象者は准教授、助教とし、サステナビリティに関する継続的な研究あるいは教育に尽力される方とする。ただし、今年度分だけでなく、申請テーマに関する複数年度にわたる成果について、RISS 報告書(2010 年 3 月)に掲載する義務を負う。

## 3. 応募資格

- (1) 大阪大学において常勤の職につく 1 名を責任者(准教授、講師、助教)とするグループまたは個人

## 4. 申請手続き

- (1) 提出書類

提出書類は添付の書式で下記項目を明記すること:

- ① 事業の名称
- ② 事業の内容(目的との関係がわかるように記述すること)
- ③ 事業が関連する平成 21年度テーマとの関連
- ④ 希望する予算額(最大 50 万円/件)
  - ◆ 消耗品費 (物品、書籍、既製品のソフトウェア等)
  - ◆ 国内旅費 (国内での出張に係る経費)
  - ◆ 外国旅費 (外国への出張に係る経費)
  - ◆ 諸謝金 (会議への出席、講演、指導・助言等に対する謝金)
  - ◆ 雑役務費 (役務の外注に係る経費、学会参加費等)
- ⑤ 責任担当者(研究開発及びその成果の管理を行う者)の氏名、所属、役職、電話番号、メールアドレス

⑥ 複数の担当者の場合、研究従事者リスト(氏名、所属、役職を明記)

⑦ 事業の効果、期待される成果等

\* 提出書類の専用データがありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

(2) 応募受付期限

2009年7月17日(金) 18:00

(3) 選考および採否の通知

RISS 企画推進室において書類審査を行い、採否および予算額の決定を行う。

採否の結果は8月上旬に通知する。

(4) 報告書の提出

2010年3月上旬までに簡単な報告書(A4 4ページ程度)を作成すること。

(5) 公募にかかわる問合せ先

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構(RISS) 特任教授 石井善明

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

先端科学イノベーションセンター 先導的研究棟 6F

Tel.&Fax 06-6879-4150

E-mail [riss-koubou09@riss.osaka-u.ac.jp](mailto:riss-koubou09@riss.osaka-u.ac.jp)

以上